

秩父の鋭鋒

秩父の槍ヶ岳

標高 1,341m

山行実施日
2016年
4月3日

メンバー
M田(L)、
K塚、
I田、O川ゆ、
U村、H高

秩父槍ヶ岳は昭文社の地図にも波

線表示されている道があるだけだ。

かつ今回の計画はその波線ではない
ところを登る、というので大いに興
味が沸き、参加登録した。

八時過ぎに相原橋の駐車場に到着
し、身支度を整えて二十分後に出発。

相原沢沿いに二十分ほど歩くと、
右上に野鳥観察のための東屋が見え



山頂にて

てきた。ここへ上がって登る順番を

H高、K塚、O川ゆ、U村、I田、

M田に決め、簡易ハーネス等を装着

「この道は登山道ではない。ただし

示があるトラロープをまたいで禁断

の地に侵入する。

警告表示は本物だった。のっけか

らとんでもない急勾配をガシガシ登

る。登山道として整備されているわ

けでもない。道がボロボロだ。

ここを下るとなると懸垂下降しなき

やだなあと思いつつ、少しでも楽な

ルートを見つげるためにトップで目

線を左右に光らせる。

振り返って皆の登りを見てみると

それぞれみんな癖がある。O川ゆさ

んは急傾斜になるとどうしても腰が

引けてしまうらしく、斜面にへばり

ついてしまう。斜面になればなるほ

ど直立しなくてはいけない。へばり

つく毎にU村さんがO川ゆさんに声

をかける。そしてそのU村さんは脚

力が強い故か、ガンガン落石を落と

している。

している。

しばらく進むと傾斜が多少緩くな

り、植林が右側に出てきて道は植林

道を多少利用する形で登っていく。

頂上直下のトラロープが張られて

いる岩場ははっきり言ってトンでも

なかった。M田さんが先行し、私が

中間点に位置してそれぞれ補助ロー

プを出して皆を確保しながら登って

きて貰ったが、中間点から上の岩が

ボロボロでいつ上から岩がぶっ飛ん

で来るんじゃないかと気が気ではな

かった。

そしてその上部の急傾斜で手がか

りとなる木や岩がない草付き状の所

も危なかった。こんな所は危なくて

しかたないので、左手のブッシュ帯

に突入し、灌木の中を身をくねらせ

ながら枝を掴んで突破。

この悪場を通過したら山頂は指呼

の間であった。ようやく付いた山頂

は、「槍ヶ岳」の名称には相応しくな

くそこそこ広く、かつ眺望はない。

デモまあ登れてよかったよかった、

ということでランチタイム。

一休みしてから稜線上の道を辿る。

以前にこの道を歩いたK塚さん曰く、

昔はこの登山道は標識もけっこうあ

ったとのこと。でも今は何もない。

途中で通過した、ちよつと目立った

ピークのコンサイス槍ヶ岳にあった

というテレビアンテナも陰も形もな

かった。

コンサイス槍ヶ岳を通過し、これ

また急勾配の尾根道を下る。途中で

見かけた槍ヶ岳は、やはりその名に

ふさわしく屹立してた。歩行を進め

ると、相原沢沿いの遊歩道に出る。

あとはのんびり歩いて出発地点に帰

着。いや、なかなかハードな一日で

した。

(H高 記)

コースタイム

相原橋 8:35-8:50 野鳥観察小

屋 9:00-12:40

山頂 13:20-15:10 相原沢

-15:37 相原橋